

クロムフリー 銅・銅合金防錆剤

CUガード

CUガードとは

「CUガード」は銅、及び銅合金等の銅系金属用として開発された、水溶性防錆剤です。

特 徴

銅、銅合金系の防錆処理としては無水クロム酸系、またはクロム酸や重クロム酸の塩類等を用いて金属表面にクロメート皮膜を形成させる方法がありますが、これらは金属表面に処理ムラを生じやすく、防錆効力も短いという欠点があります。

また、近年では環境保全の見地より、有害金属の使用規制がうたわれ、クロムフリー防錆剤の要求が高まり、このなかで開発された薬品がCUガードです。

「CUガード」を使用する事によって、クロメート処理の欠点を補い、常温で「CUガード」の希釈液中に短時間浸漬するだけで、乾燥後長時間にわたり変色を防ぐ事が出来ます。

効 果

「CUガード」処理後、高温・高湿下の亜硫酸ガス雰囲気中に於ける試験に於いて、銅及び黄銅の場合共に「CUガード」処理を行った試験片は、対照及びクロム酸処理に比較して、きわめて優れた防錆性を示し、全く変色を生じておりません。

性 状

外 観：淡黄色・透明液体
比 重：0.996 (at.21.5℃)
溶 解 性：水及びアルコールに任意の割合に溶解します。
安 定 性：100℃以下で安定であり、分解等は生じません。
また、酸やアルカリに対しても比較的安定でpH4
～9の範囲なら十分に耐えます。
PH : 7.2
吸 収 波 長：259nm

使 用 法

1. 使用濃度：通常、水で10倍に希釈し、10%溶液として使用します。
2. 処理温度：20～50℃
3. 処理時間：約1分（温度が高い程、処理時間は短くなります）
4. 液 管 理：異物が混入しないように注意し、排出量だけ追加します。
5. 乾 燥：処理後に水洗を行っても効果に影響は殆ど有りません。乾燥は熱風乾燥等、その他適宜の方法で行います。
6. 使 用 例：一般防錆の場合
「脱脂」→(水洗)→「CUガード」→(水洗)→「乾燥」

※取り扱い上の注意と応急手当

1) 貯槽は出来るだけ冷暗所をお願いします。

2) 皮膚に接触した場合

短時間の接触では特に問題は有りませんが、身体に付いた時は出来る限り速やかに水道水で洗い流して下さい。

3) 目に入った場合

通常のアルカリ剤と同様に危険ですので、すぐに大量の水で洗い流し、場合によっては薄いホウ酸水で洗浄、眼科医の診療を受けて下さい。

4) 飲み込んだ場合

本品はメタノールを少量含んでおりますので、謝って飲み込んだ場合は速やかに胃の洗浄を行い、医者 の診察を受けて下さい。

5) 詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート (MSDS) を整備しておりますので、参照下さい。

6) 漏れ、流出の場合

漏れや流出の場合には水洗いして下さい。

7) 取り扱う際は保護マスク、保護眼鏡、保護手袋を使用して下さい。

※排水処理について

通常の凝集沈殿法により、容易に除去可能です。

株式会社 ルック

(本社) 〒536-0023 大阪市城東区東中浜 9-7-31 TEL:06-7161-2949

(巽工場) 〒544-0015 大阪市生野区巽南 5-14-39 TEL : 06-6973-7351